

平成20年3月分電力需給状況

需要の概要

平成20年3月の販売電力量は、24億7千4百万kWh時、前年比106.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、2月から3月上旬の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比112.9%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、前年に比べ、3月上旬および下旬の気温は低めに推移したものの、中旬の気温が高めであったことなどから、前年比100.0%となった。

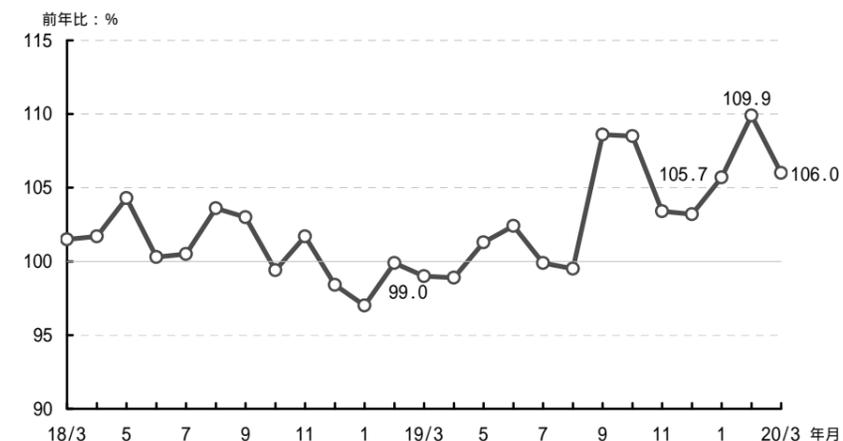
産業用の「大口電力」は、紙・パルプなどが前年を上回ったことから、前年比104.8%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電灯	878	112.9
	電力	173	108.1
	計	1,051	112.1
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	492	100.0
	産業用電力	931	103.1
	うち大口電力	(739)	(104.8)
	計	1,423	102.0
販売電力量計		2,474	106.0
融通		469	75.7

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比		
		20/3月	20/2月	20/1月
紙・パルプ	169	129.9	136.2	149.4
化学	145	100.9	101.0	104.6
鉄鋼	80	90.4	81.7	86.5
機械	152	106.6	113.9	109.6
その他	193	96.2	104.3	100.7
合計	739	104.8	108.9	110.3

(参考2) 4県都平均気温

	20/2月				20/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実績	5.3	4.9	6.5	5.5	8.0	12.4	11.5
平年差	0.0	1.6	0.0	0.6	0.1	3.2	0.9	1.3
前年差	3.2	4.2	3.0	3.5	1.8	4.8	2.1	0.2

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により前年比82.1%となった。
- 水力は、前年の渇水の影響により前年比139.9%となった。
- 火力は、需要の増や原子力の減などにより前年比103.2%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備考
		電力量	前年比	
原子力	(40)	1,268	82.1	出水率 98.8% (19年3月出水率 64.3%)
水力	(8)	260	139.9	
火力	(51)	1,632	103.2	
新エネ	(1)	25	93.3	
発受電計	(100)	3,185	95.4	
その他		0		
供給計		3,185	95.7	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)			
		徳島	高知	愛媛	香川
販売電力量計	(103.4)	555	(106.0) 396	(109.3) 889	(104.0) 634

注：()内は前年比